



国民春闘共闘

第17号

2017年3月23日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

3・16 全国統一行動 ②

地域から賃上げ・底上げをアピール

2017年国民春闘最大のヤマ場「3・16 全国統一行動」では、ストライキなど職場でのたたかいとともに、各地域で集会やデモ、署名宣伝行動など、多様な行動が終日展開され、大幅賃上げ・底上げ、戦争法廃止、共謀罪国会提出許さない、残業代ゼロ法案廃案などを強くアピールしました。

大阪～3・16 大阪総行動に1万人



大阪春闘共闘委員会と大阪労連は、2017国民春闘ヤマ場の最大のとりくみである3・16全国統一行動に結集して「3・16大阪総行動」として、なんば・淀屋橋の2か所での早朝宣伝を皮切りに、流し宣伝カーの運行、ランチタイムデモ、総決起集会&デモ行進、カジノ問題での府知事への個人請願行動を行いました。各職場・地域でさまざまな行動を終日展開し府下全体でのべ1万人以上が行動しました。

淀屋橋・なんばでの早朝宣伝を皮切りに、ランチタイムデモでは約200人がオフィス街に春闘をアピール。午後からの春闘勝利労働者総決起集会には650人以上が結集。大商連の藤川会長から連帯挨拶をいただき、福祉保育労と大教組から決意表明。続いて大阪府庁近くの「大手前芝生広場」まで元気よくデモ行進し、最後は大阪府に対して、「カジノ反対・府民生活守れ」の個人請願を行い、494通を提出しました。各単産・地域では、ストライキをはじめそれぞれの組織や地域での宣伝、企業・行政機関への要請や懇談、労働組合訪問、決起集会、そして職場集会や決議運動などにとりくみました。

北海道～職場で決起、地域で共闘行動に 3,688 人



単組が要求を掲げて決起し、職場や団体の垣根を越えて地域の仲間に声をかけ、要求前進をめざして寒さ吹き飛ぶ熱い団結と連帯を強めてともにたたかう「共同行動」が道内各地で取り組まれて3,688人が参加。

旭労連と福祉保育労旭川支部では、福祉労働者の大幅増員、大幅賃上げ、戦争法廃止、憲法改悪反対の要求を掲げて旭川市の中心街で春闘統一行動を実施。自分の言葉で要求実現の思いを訴えるスピーチに大きな共感が寄せられました。準備したチラシ・ティッシュもあつという

まになくなるなど、厳しい寒さの中でしたが街行く人たちの反応は上々でした。

札幌市東区の集会には130名が参加。「保育士の給料低すぎて苦しい」「子どもたちを戦場に送りたいくない」、「若者が当たり前の暮らしができるように賃金上げてほしい」「国有地は国民の財産なのに、8億もまけてやるなんて、許せない」など、暴走政治への怒りや、黙ってないで声をあげて変えていこうと訴えが相次ぎました。最後にサイリウムで光り輝く団結がんばろう！をコールしました。

兵庫～賃金底上げと雇用の安定、地場産業振興パレード

県春闘共闘・兵庫労連は、統一行動日の3月16日、神戸で「賃金底上げと雇用の安定、地場産業振興パレード」を行いました。

成山太志代表委員（兵庫労連議長）はパレード出発前の挨拶で、格差と貧困を是正するには賃上げと富の再配分が必要であることを指摘。私たちの運動に確信を持ち、行動を起こそうと訴えました。

パレードは、「最賃上げろ！」「過労死なくせ！」などコールしながら繁華街を歩き市民にアピール。途中、横断幕をみた若者達が「ええこと言うやん」と話していた光景もありました。



福岡～宣伝行動で各単産が訴え（福岡）、決起集会と宣伝行動（北九州）



福岡県春闘共闘は、県下各地での一斉宣伝などの行動を呼びかけ、福岡市では街頭宣伝行動が行われ、45名が参加。各単産代表がマイクを握り、賃上げと各産別の訴えを行いました。北九州市では、地区春闘共闘が決起集会と宣伝行動を行い、60人が参加しました。

（写真は決起集会）単産では、JMITU・通信労組が県下2箇所では始業時1時間ストライキ、医労連・全労災（労災病院）が2箇所では終業前1時間ストライキを決行し、県労連・各単産で激励支援を行いました。

「出版労連春闘統一行動」と「3・16 安心できる暮らしを実現するデモ」

出版労連は、「春闘勝利 3・16 決起集会」を虎ノ門で開催。大谷委員長は「長時間残業について、経団連と連合トップが 100 時間未満過労死ラインぎりぎりぎりぎり手をつなぐ。勤務間インターバルは努力義務だが規制のある企業で 10 時間を 11 時間で試験的に変更して始めようと回答があった。同一労働同一賃金では、契約社員に一時金の増額があった、今後粘り強い交渉で引き出していきたい。共謀罪は、表現活動に冷や水を浴びせる恐ろしい監視活動、職場の声や要求を社会の声に」とあいさつ。

ミニ学習会「共謀罪の創設を止めよう」の後に、行動提起がされ、第 2 波統一行動では 2 か月更新で何十年も最賃で働いている労働者を組織化し団交に。最賃引き上げや非正規の仲間の労働条件を改善させながら組合加入を呼びかけようと提起し、閉会后移動しデモ隊列へ参加。

18 時 45 分から千代田区春闘共闘、中央区春闘共闘、日本マスコミ文化情報労組会議(MIC)は「大幅賃上げ・全国一律最賃制実現！労働法制改悪反対！戦争法廃止！憲法破壊・共謀罪国会提出を許さない！3・16 安心できる暮らしを実現するデモ」を行い 180 人が参加。虎ノ門から国会までシュプレヒコールをしながら訴えました。



東京～三多摩ストライキ

三多摩国民春闘共闘と JMITU 東京地本西部地区協議会は立川市曙一丁目公園で三多摩統一ストライキ集会を実施し 250 人が参加。

集会では主催者を代表して三多摩春闘共闘の菅原一茂代表委員が挨拶。激励あいさつには、国民春闘共闘・小田川義和代表幹事、東京春闘共闘会議・森田稔代表、JMITU・生熊茂美中央執行委員長がかけつけ、小田川義和代表幹事は「市民団体との取り組みの連帯、安倍政権を追いつめる世論づくりを」と呼びかけました。

職場からの決意表明では、建交労・京王新労組や東京土建、医労連、JMITU の 4 支部が発言。東京土建からは低賃金や劣悪な職場環境など様々な理由による若者の離職率の高さ（新卒 3 年以内 50%）とそれにとまなう世代交代のむずかしさ。ゼネコン、住宅メーカーが空前の利益を上げているにもかかわらず現場の労働者の賃金が上がらない現状について「利益は現場から出ている、現場を大切にしない職場に未来はない」と訴えました。最後に集会決議を採択し、団結ガンバローで集会を締めくくりました。

集会終了後、立川駅北口までデモ行進と宣伝を行いました。



東京～西部労働者総決起集会



東京春闘西部共同代表の宮崎さんが「春闘課題は様々あるが、まず東日本大震災。いまだに8万人が避難生活を余儀なくされている。生活再建、復興はまだこれから。『原発事故は最悪の環境破壊。原発はいらない』の声を大きくしなければいけない。そして長時間労働の問題。残業の上限規制としながら、年720時間、月100時間、過労死ラインを上限にすることはおかしい。ちゃんとした上限を求めていこう。辺野古・高江の米軍基地やオスプレイ墜落など沖縄問題、共謀罪や解雇の金銭解決法など、

大きな共同で跳ね返していきたい」と主催者挨拶。東京春闘共闘、JAL争議団から春闘に向けた決意表明集会後、新宿西口をデモ行進しました。

JMITU 東部地区協議会～総決起集会

西葛西の小島公園で3・16 東部金属労働者総決起集会を開催し、地協の8支部が半日ストを決行し、総決起集会には200人が参加しました。主催者あいさつに立った芝山東部地協議長は「集中回答日には全国で101支部・分会が有額回答を引き出した。粘り強い取り組みで大きな成果を出しているが、生活改善に至らないところもあり、私たちは今日、決起した。全国一律最賃1000円以上を実現し、アベ働さ方改革や共謀罪など、安倍暴走政治をストップさせよう」と述べました。



地元の江戸川区労連をはじめ、足立区労連、荒川区労連、通信労組本部もかけつけ激励しました。行動提起、解雇争議をたたかう新井鉄工所支部など3つ争議団の訴え、集会決議採択の後、団結ガンバローで集会を締めくくりました。新井鉄工所社長宅の近くを通過して西葛西駅までデモ行進し、争議の早期解決、賃上げや商店街の活性化を訴えました。

東京～北部ブロック

3月16日、東京北部ブロックは、北部春闘共闘と北部労協共催で、17春闘勝利春の北部共同行動が取り組まれ、午後6時30分から池袋東口近くの中池袋公園でデモ出発の意思統一が行われました。

東京北部春闘共闘事務局長の益子茂さんと北部労協議長の小泉尚之さんがあいさつ、安倍政権の「働かせ方改革」を批判し、8時間労働で普通に生活できる賃金を求めました。JMITU 東京地本北部地区協議会副議長の相澤広之さんが朝からのスト、宣伝行動の報告とデモ指示。デモの隊列は東京北部の各地区労連、東京全労協北部労協、JMITU など200人以上が池袋駅東五差路を周回して17春闘勝利、均等待遇を実現しようと訴えました。

